

137年の歴史に幕

3月18日(木)赤松小学校として最後の卒業式が挙行政され、大西美季さん、林田涼花さん、元井真也君の3人が、多くの関係者が見守る中、巣立って行きました。

また、3月25日(木)赤松小学校閉校記念式典が行われました。式典には、同校OBも多数出席し、母校「赤小」に別れを告げました。

同校は明治6年に創立され地域一体型の学校でありましたが、生徒数の減少や日和佐小学校の改築に伴い、平成22年4月より日和佐小学校と統合することとなります。

赤松小学校閉校に寄せて

赤松小学校長 栗林啓次

明治6年3月創立以来、137年の歴史と伝統を引き継いできた赤松小学校が過疎化、少子化による児童数の減少により、平成22年3月31日をもって幕を閉じることになりました。この間、美しい自然に囲まれた学舎から巣立った卒業生は2,500余名を数え、数々の優れた人材を輩出し、地元はもとより県内外の様々な分野で活躍されております。

本校は、これまで地域の豊富な教育力を存分に生かし、赤松学習(総合的な学習)・道徳教育等に主に輝かしい教育実績を積み上げてきました。本校より発信した教育実践は海部郡内のみならず県下の多くの学校の指針ともなりました。

この一年、閉校を控え、保護者・地域の皆様の心温かいご支援・ご指導を受け、「赤松吹筒花火」「赤小フェスタ」「ザ50回転ズ閉校記念ライブ」等、様々な閉校行事を体験させて頂きました。その都度、テレビ・新聞でも報道されましたように、多くの方が閉校を惜しみ、ご来場くださいました。

そして、桜の開花と共に、暖かい春の訪れを迎えた3月25日、赤松地域の方々をはじめ多数の関係者のご参列を得て、赤松小学校閉校記念式典が厳粛に執り行われました。赤松小学校137年の歴史に幕を閉じるにふさわしい式典でありました。

これまで、赤松小学校の教育に対しましてご支援・ご指導を頂きました美波町・美波町教育委員会、保護者、赤松地域の皆様方、美波町民の皆様方に心より御礼と感謝を申し上げます。有り難うございました。

